

第5章 構想の推進

1. 推進体制

健幸なまちづくりは、市の総合政策として庁内関係課の連携をはじめ、市民、地域、関係機関、企業などとも連携し進めていく必要があります。

庁内においては、本構想推進プロジェクトチーム及び各部会を通じて、関係課が連携しながら、施策・事業の優先度を見極めつつ、本構想の着実な推進を図ります。

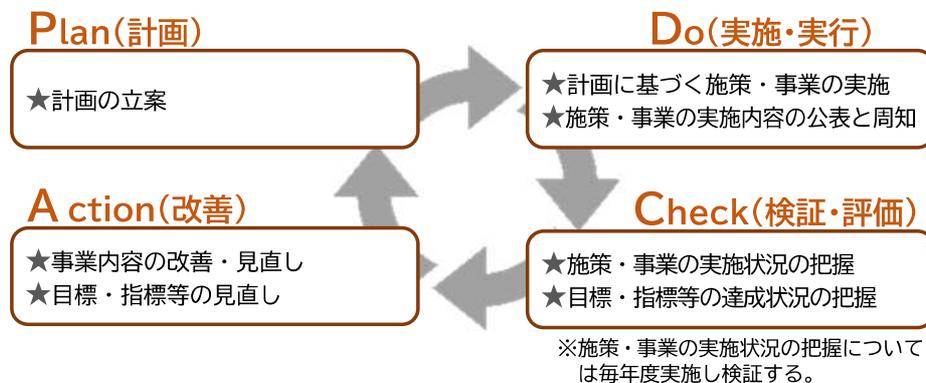
市民、地域、関係機関、企業などにおいては、健幸なまちづくりや健康宣言の促進をはじめ、各事業を通じて、参加を促すとともに、ウェルネスシティの考え方を常に普及啓発します。事業内容も市ケーブルテレビ（うだちゃん11）、ホームページ、広報紙などを通じて周知します。

本構想の考え方の基本となっている、スマートウェルネスシティ首長研究会からの情報を取り入れ、今後の施策の方向性を見据え健康長寿の市を実現します。

2. 進捗管理・評価

本構想の目標を着実に達成するために、本構想推進プロジェクトチームを中心に、PDCAサイクルに基づき、定期的な達成状況の点検とその結果に基づく取組の見直しを行います。進捗評価結果は公表し、健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想が行政と市民が一体となって進めていけるよう情報の共有に努めます。

計画の最終年度には構想全体の評価を行い、次期構想を策定します。



資料編

- ・ 第2次構想目標値の達成状況
- ・ 企業・団体アンケート調査結果
- ・ 用語解説

第2次構想目標値の達成状況

評価区分	A	目標に達した
	B	目標に達していないが、2018年度よりも改善傾向
	C	数値の変化なし
	D	数値が悪化した
	-	新型コロナウイルス感染症の流行による事業の中止などにより、評価できない

(1) 病気の予防と健康づくり

①食育の推進

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合（64歳未満）		13.1%	12.4%	14.1%	14.2%	8.0%	D
小鉢1杯の野菜を食べる回数が毎食の人の割合		25.0%	24.8%	25.7%	25.7%	40.0%	B
朝食を毎日食べると回答する児童・生徒の割合	小5男子	78.6%	77.5%	-	78.7%	83.0%	B
	小5女子	84.8%	85.0%	-	73.1%	89.0%	D
	中2男子	76.1%	74.8%	-	84.0%	81.0%	A
	中2女子	77.2%	73.3%	-	77.4%	82.0%	B

②身体活動の増加

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
運動習慣者の割合	男性	39.0%	41.2%	41.3%	39.3%	46.5%	B
	女性	32.9%	34.6%	33.6%	32.3%	39.7%	D
身体活動実施者の割合	男性	41.8%	44.3%	45.0%	45.3%	51.3%	B
	女性	38.3%	41.9%	42.5%	40.4%	47.7%	B

③生活習慣病の予防と重症化予防

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
喫煙者の割合		11.8%	12.8%	11.0%	11.4%	8.1%	B
COPD認知度の割合		41.8%	44.5%	37.2%	42.0%	80%	B
飲酒者の割合	男性 毎日2合以上	12.6%	13.4%	12.2%	11.9%	12.1%	A
	女性 毎日1合以上	3.2%	3.3%	3.5%	3.5%	3.5%	A
特定健診受診率		31.8%	33.0%	30.4%	35.8%	40%	B
特定保健指導実施率		32.8%	43.6%	39.6%	44.4%	40%	A
がん検診受診率	胃がん	18.4%	18.6%	15.8%	14.7%	26%	D
	肺がん	17.2%	18.6%	15.0%	17.4%	24%	B
	大腸がん	21.0%	21.8%	18.1%	21.2%	28%	B
	子宮がん	22.3%	23.1%	20.7%	21.0%	36%	D
	乳がん	27.5%	28.7%	24.7%	25.6%	37%	D
がん検診精密検査受診率	胃がん	93.7%	87.4%	88.9%	90.1%	100%	D
	肺がん	93.8%	75.0%	78.6%	94.1%	100%	B
	大腸がん	87.7%	78.0%	84.8%	87.5%	100%	D
	子宮がん	94.1%	62.5%	100%	100%	100%	A
	乳がん	98.4%	97.6%	95.0%	100%	100%	A
メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合		28.8%	27.3%	30.5%	34.0%	26%	D
糖尿病要医療者の割合（NGSP 6.5%以上）		7.7%	8.0%	7.6%	7.9%	9.5%	A
糖尿病治療者でハイリスク者の割合（NGSP8.4%以上）		7.2%	6.6%	4.3%	4.6%	6.4%	A

④こころの健康づくり

内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
自殺死亡率（人口10万対）	19.25	13.1	13.5	17.1	11.1	B
こころの健康づくり学習会参加者数	105人	未実施	未実施	未実施	150人	-
ゲートキーパー養成講座受講延数	13人	132人	未実施	TV放送のみ	680人	-

⑤歯と口の健康づくり

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度 目標値	評価 区分
1人平均現在歯数を増やす	40～64歳	25.1本	25.0本	25.9本	24.7本	26本	D
	65～75歳	20.2本	20.8本	20.9本	20.4本	22本	B
1年に定期的に歯科健診を受ける40歳以上の人の割合を増やす		59.2%	66.9%	58.7%	62.4%	100%	B
60歳で24本以上自分の歯がある人の割合を増やす		65.1%	63.2%	87.5%	55.5%	75%	D
毎食後歯みがきする人の割合を増やす	40歳代	24.4%	18.9%	23.8%	24.0%	30%	D
	60歳代	27.1%	23.5%	24.9%	27.2%	30%	B
妊婦歯科健診受診率		34.5%	39.5%	36.4%	48.3%	40.5%	A
歯周疾患検診受診者数		266人	254人	239人	281人	300人	B
糖尿病起因歯周疾患検診受診者数		22人	26人	37人	15人	40人	D
事業所歯科健診・職域歯科健康教育事業所数		1箇所	1箇所	3箇所	2箇所	1箇所	A
若年層の歯科健診受診数		-	事業検討	実施無	実施無	40人	-
節目歯周疾患検診受診者数		189人	183人	171人	173人	220人	D
オーラルフレイル予防等の歯科健康教育参加人数		122人	169人	83人	実施無	300人	-
むし歯の無い3歳児の割合を増やす		77.6%	78.1%	77.7%	89.4%	90%	B
1歳6か月健診で毎日仕上げみがきをする保護者を増やす		97.5%	98.1%	99.0%	100%	100%	A
むし歯の無い12歳児の割合を増やす		70.7%	59.1%	47.6%	57.5%	80%	D
毎食後歯みがきする人を増やす	年長児	60.4% (2017)	-	-	63.9% (2020)	80%	B
	小学校4年生	44.4% (2017)	-	-	63.3% (2020)	70%	B
	中学校2年生	7.5% (2017)	-	-	15.0% (2020)	20%	B
半年前に比べて固いものが食べにくくなった高齢者の割合を減らす		27.5% (2017)	-	-	29.3% (2020)	20%	D
お茶や汁物でむせることがある高齢者の割合を減らす		21.8% (2017)	-	-	26.0% (2020)	20%	D
いきいき歯ッピー体操実施施設数		17箇所	66箇所	36箇所	27箇所	32箇所	B
よい歯のコンクール高齢者参加者数		23人	20人	中止	実施無	30人	-
歯科健康教育参加者数		134人	852人	117人	103人	200人	D

⑥親と子の健康

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
妊娠中及び産後に困ったことを相談できた人の割合	妊娠中	98.4%	—	—	97.6%	100%	D
	出産後	98.4%	—	—	100%	100%	A
夜10時までには寝る幼児の割合	1歳6か月児	77.8%	82.2%	74.8%	87.9%	80.0%	A
	3歳児	76.5%	77.0%	71.8%	83.2%	80.0%	A
テレビやDVDを1日2時間以上見ている3歳児の割合		46.8%	41.7%	50.3%	44.4%	45.0%	A
子どもに対して育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	4～5か月児	81.3%	86.7%	100%	85.7%	88.5%	B
	1歳6か月児	67.9%	75.0%	68.4%	87.5%	77.0%	A
	3歳児	69.2%	80.6%	91.3%	93.5%	85.2%	A

(2) 子どもたちの体力向上

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
運動能力平均評定値	5歳児	3.05	3.01	2.98	県の平均値の発表なし	3.25	—
体力合計点平均値	小学校5年生	110点	110点	112点	108点	112点	D
	中学校2年生	94点	94点	95点	92点	96点	D
駅伝チャレンジ大会の開催	参加チーム数	10チーム	12チーム	中止	中止	13チーム	—
	参加校数	5校	6校	中止	中止	6校	—
奈良県市町村対抗駅伝大会順位		16位	中止	中止	中止	10位以内	—
子どもたちの宇陀シティマラソンへの参加促進(ファミリー1km、小学生2km)		489人	438人	中止	中止	400人	—
子どもたちの温水プールの利用促進(利用延べ人数)		16,331人	16,384人	6,836人	9,396人	15,000人	D
夏休み水泳教室・無料一般開放利用延べ人数		363人	370人	中止	中止	330人	—

(3) 介護予防と生きがいつくりの推進

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
要介護認定率		20.9%	20.2%	20.1%	20.0%	19.3%	B
週2回以上外出する高齢者の割合 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)		75.7%	66.1%	-	-	80%	-
マダヤール	事業所数	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	4箇所	C
	参加人数(年度内)	70人	88人	40人	59人	80人	D
いきいきサロン 教室	教室数	52箇所	53箇所	52箇所	51箇所	58箇所	D
	参加人数	1,047人	1,096人	951人	770人	1,160人	D
いきいき百歳体操参加人数		782人	997人	1,054人	1,064人	1,200人	B
ウェルネスシニア健康学校参加延人数		138人	170人	200人	未実施	230人	-
公民館主催講座参加人数		1,585人	1,548人	1,206人	1,276人	1,705人	D
自主グループの登録数		42グループ	40グループ	42グループ	42グループ	50グループ	C
趣味が実益につながる講座の開催数		5講座	4講座	5講座	4講座	8講座	D
社会教育推進講座実施団体数		15団体	13団体	2団体	1団体	22団体	D

※要介護認定率は、「宇陀市高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画」より引用。

(4) 歩きたくなる環境づくり、仕事が続けられる環境づくり

①歩きやすい道づくり

内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
薬草めぐりマップ作成	1ルート	2ルート	3ルート	3ルート	4ルート	B
LED化した公園園路を増やす	-	0公園	1公園	2公園	3公園	B
自転車道や歩道の環境整備	継続	継続	継続	未実施	継続	-
公園園路LED化改修 心の森総合福祉公園 榛原フレンドパーク	-	-	0個	0個	12個	D
	-	-	0個	20個	8個	A

②農作業に親しむ健康づくり

内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
薬草の商品開発数	12品目	15品目	20品目	25品目	30品目	B
野菜の機能性食品開発数	2品目	2品目	3品目	3品目	毎年3品目	A
薬草栽培研修会	1回	2回	中止	中止	3回	-
薬草栽培生産者数	80名	80名	80名	80名	100名	C
薬草協会による栽培、研修、6次産業化、販路開拓	大和当帰葉加工栽培研修会開催					A
	-	6次産業化	販路開拓	新商品開発	新商品開発	
6次産業化の推進 (商品開発の取り組み補助)	2品目	2品目	3品目	3品目	3品目	A
薬草栽培調査研究の推進	大和当帰		大和当帰			B
	セネガ		セネガ			
	甘茶		甘茶			
	-	-	野草活用	野草活用		
機能性評価取得分析支援	2件	2件	3件	3件	3件	A
東榛原市民農園貸出の推進 (計28区画)	-	25区画	28区画	23区画	28区画	B

③にぎわいのまちづくり

内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
薬草関係イベント参加	5,000人	5,000人	中止	中止	5,000人	-
榛原駅前歩行者数	302人	未実施	未実施	未実施	400人	-
にぎわいづくり事業による交流人口	9,247人	8,094人	1,500人	5,203人	14,500人	D
室生寺周辺活性化によるにぎわいづくり事業 (ライトアップ実施) 来場者数	3,422人	2,094人	中止	1,703人	7,500人	D
重要伝統的建造物群保存地区保存事業	継続	継続	継続	継続	継続	A
うだ産フェスタ事業	サブテーマ 薬草	サブテーマ 産業・農林	中止	中止	サブテーマ 未定	-
薬草を活用したまちづくり事業 (薬草事業件数)	3件	7件	10件	12件	12件	A
還暦野球大会等の開催によるにぎわいづくり事業 (大会参加者数)	5,825人	6,000人	1,500人	3,500人	7,000人	D
ハイキング道・登山道の案内看板整備	20箇所	30箇所	40箇所	45箇所	50箇所	B
宇陀市所有地を使ったキッチンカー等による賑わいの創出	検討	事業者スキームの構築・舗装工事	管理運営	中止	管理運営	-
ウェルネスウォーク	184人	中止	中止	中止	200人	-
地域でのウォーキング	-	-	中止	中止	3箇所 200人	-

(5) とともに支え合う地域づくり

内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
近所に頼みごとができる高齢者の割合 (宇陀市高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画)	46.1%	50%	26.6%	-	45%	-
生活支援等サービス実施団体数	1団体	2団体	2団体	2団体	5団体	B
認知症サポーター養成数(累計)	1,622人	1,815人	1,837人	1,847人	2,000人	B
オレンジ(認知症)カフェ開催箇所数	4箇所	4箇所	5箇所	5箇所	5箇所	A
行方不明等あんしん登録事業年度中登録者数	52人	75人	72人	76人	70人	A
あんしん介護見守りGPS貸与事業年度中利用者数	3人	4人	8人	8人	15人	A
高齢者等サポート隊団体数	12団体	13団体	13団体	13団体	15団体	B

(6) 医療と介護の連携強化

内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
在宅での看取り加算算定者数(年間)	57.6人	43.2人	69.6人	※未把握	55人	A
在宅ターミナルケア加算の算定者数(年間)	66人	63.6人	81.6人	※未把握	60人	A

※策定時点で2021年度実績が未公表のため、2020年度時点で最終評価を行っている。

①必要とされる医療体制の充実

内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
訪問診療に従事する医師数	市立病院地域医療部	-	3人	3人	3人	A
	国保診療所	-	-	1人	1人	A
救急患者受入率	84%	85%	85%	78%	85%	-※

②地域医療と福祉の連携の推進

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
レスパイト入院患者数		14人	20人	21人	16人	22人	-※
地域包括ケア病棟入院患者在宅復帰率		87.2%	88%	88%	83%	89%	-※
多職種参加型の在宅医療に関する研修会の開催		369人	370人	380人	中止	400人	-
地域包括ケアシステムについて市民への啓発講演会		280人	280人	300人	中止	300人	-
認知症初期集中支援チームでの年度中対応延件数		53件	58件	64件	52件	70件	D
宇陀地域医療介護連携 ICT 推進事業（宇陀けあネット）	登録者数	2,583人	5,750人	6,551人	7,114人	8,000人	B
	参加施設数	53施設	56施設	58施設	59施設	80施設	B

※救急患者受入率、レスパイト入院患者数、地域包括ケア病棟入院患者在宅復帰率については、新型コロナウイルス感染症受入病床確保のため、受け入れ病床に制限があったことから「-：新型コロナウイルス感染症の流行による事業の中止などにより、評価できない」としている。

(7) ウェルネスシティを推進する3つの方法

内容		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度目標値	評価区分
おはようラジオ体操事業	実施箇所数	40箇所	42箇所	41箇所	40箇所	50箇所	C
	参加者数	753人	789人	627人	598人	950人	D
健康ポイント事業 50歳以下の応募者割合		5.5%	4.2%	3.9%	4.7%	20%	D
健康ポイント事業	応募件数	1,738件	2,171件	2,113件	2,349件	2,000件	A
	協賛企業数	13箇所	14箇所	16箇所	18箇所	18箇所	A
健康ポイント事業地域行事・イベント・教室開催数		17件	18件	9件	4件	23件	D
ウェルネスイベント	参加者数	14,446人	12,603人	1,650人	3,500人	12,500人	D
	件数	12件	6件	1件	1件	19件	D

企業・団体アンケート調査結果

(1) アンケート調査の概要

調査の目的

市内企業や市内の運動自主活動サークルの「健幸づくり」に関する現状などを把握し、「第3次健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想」の基礎資料とするために実施しました。

調査概要

◇調査対象者：

区分	対象	配布数
企業	宇陀商工会加入企業など	30社
	健康ポイント事業協賛企業	15社
市内運動自主サークル		18団体

◇調査期間：令和4年11月18日（金）～12月5日（月）

◇調査方法：郵送配布・郵送回収、各種企業、団体の代表者が記入

回収結果

対象	配布数	回収数	回収率
企業	45	25	55.6%
市内運動自主サークル	18	17	94.4%

報告書の見方

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

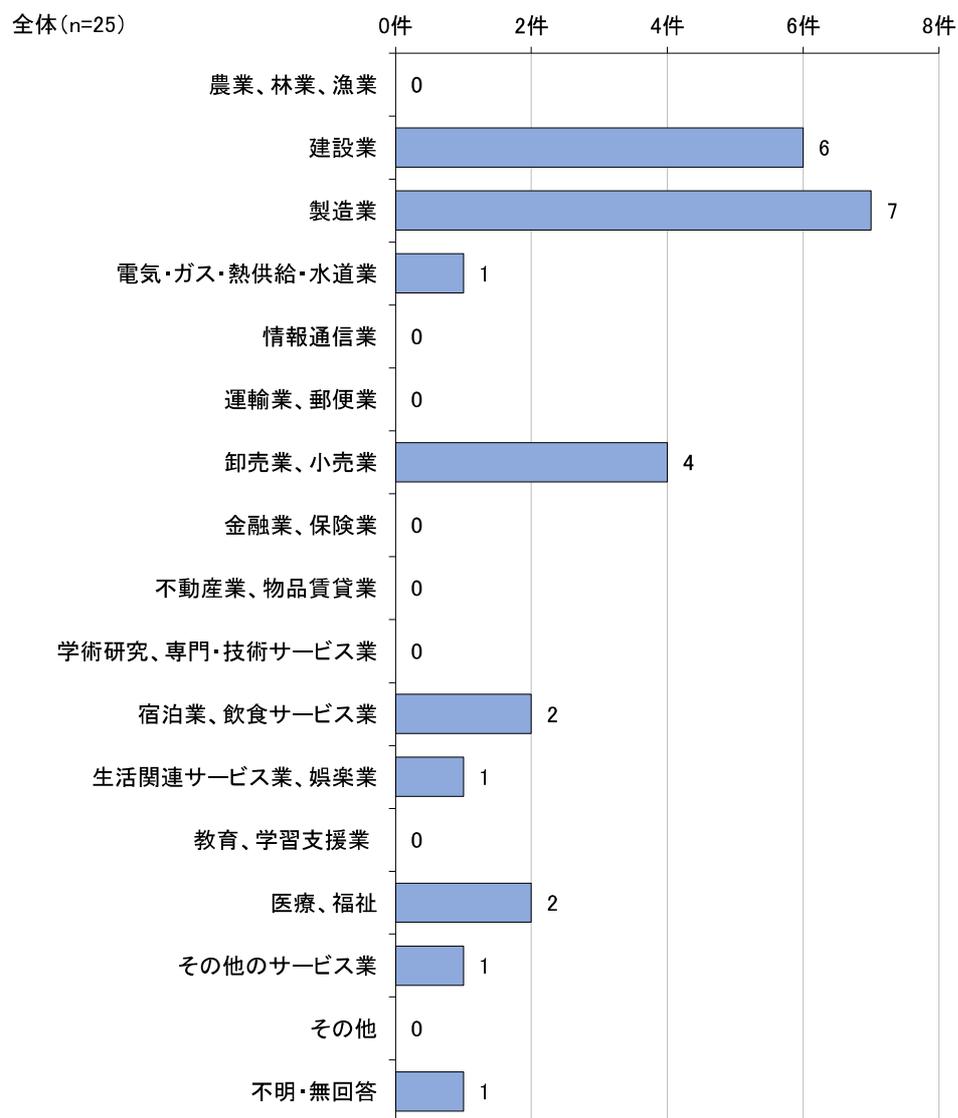
◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

(2) 企業対象アンケート調査結果

貴事業所の概要について

◆貴事業所の業種について（主なもの1つに○）

業種についてみると、「製造業」が7件と最も多く、次いで「建設業」が6件、「卸売業、小売業」が4件となっています。



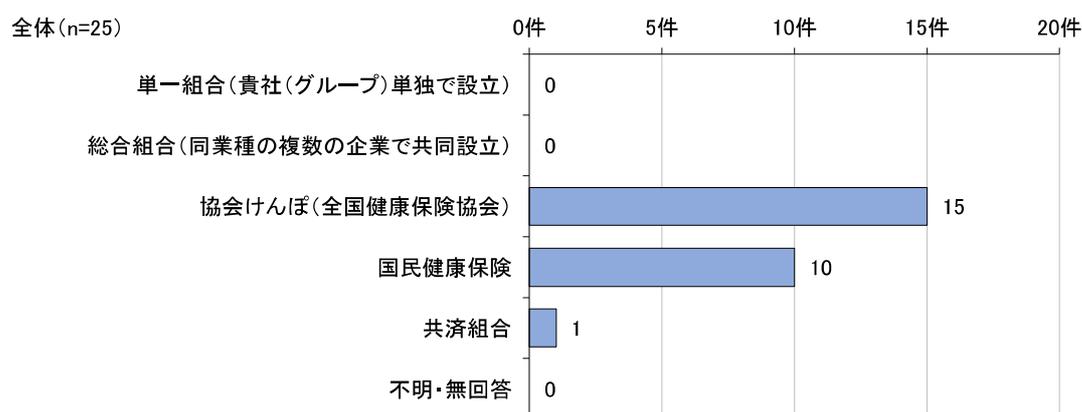
◆貴事業所の従業者数の人数について（数字で記入）

従業者数についてみると、「男性」の「正規従業者」が109人と最も多く、次いで「女性」の「正規従業者」が69人、「女性」の「非正規従業者」が42人となっています。

	正規従業者	正規従業者のうち 60歳以上	非正規従業者	非正規従業者のうち 60歳以上
男性	109人	36人	18人	6人
女性	69人	11人	42人	21人

◆貴事業所における医療保険の種別について（あてはまるものに○）

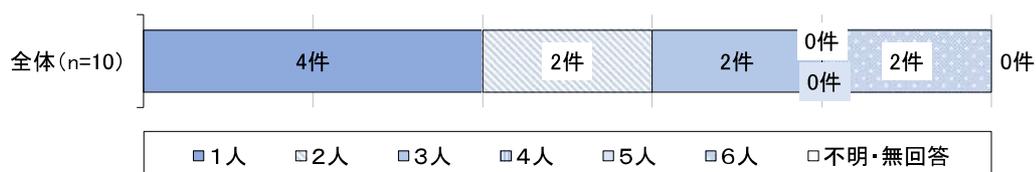
医療保険の種別についてみると、「協会けんぽ（全国健康保険協会）」が15件と最も多く、次いで「国民健康保険」が10件、「共済組合」が1件となっています。



上記の問で「国民健康保険」を選択された方にお聞きします。

◆国民健康保険の加入者数について（数字で記入）

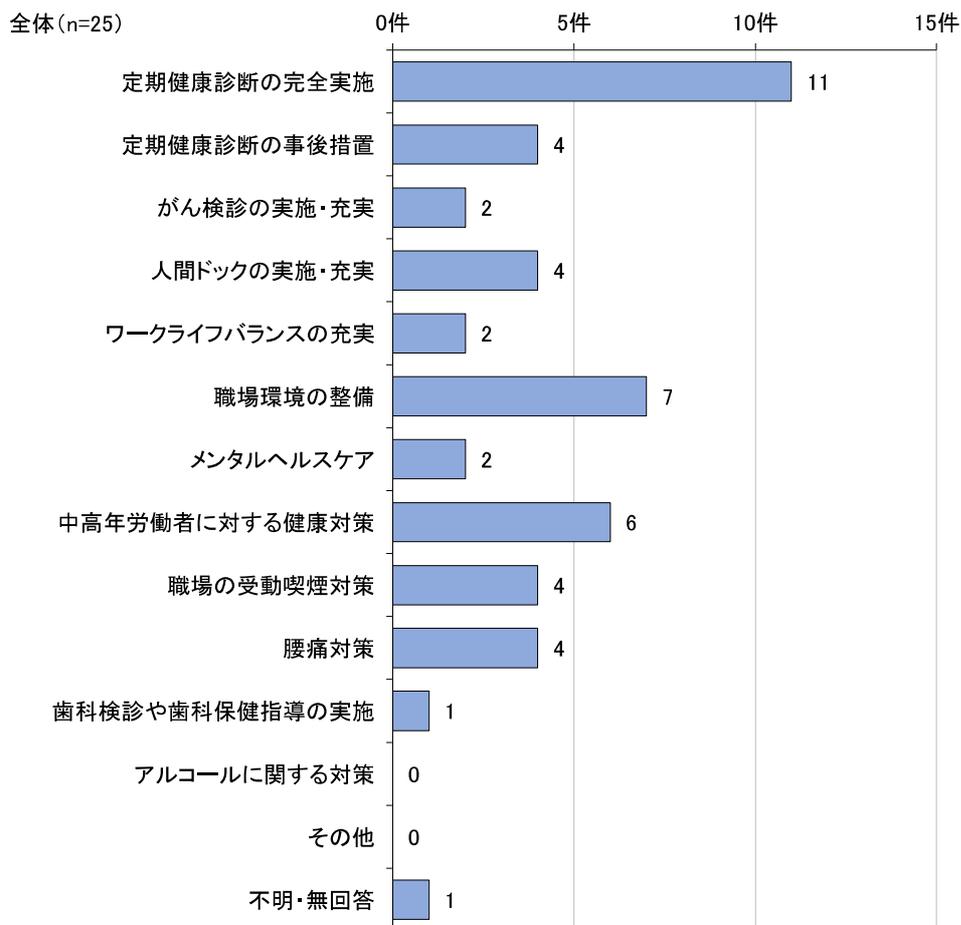
国民健康保険の加入者数についてみると、「1人」が4件と最も多く、次いで「2人」「3人」「6人」が2件となっています。



貴事業所の健幸（健康）づくりについて

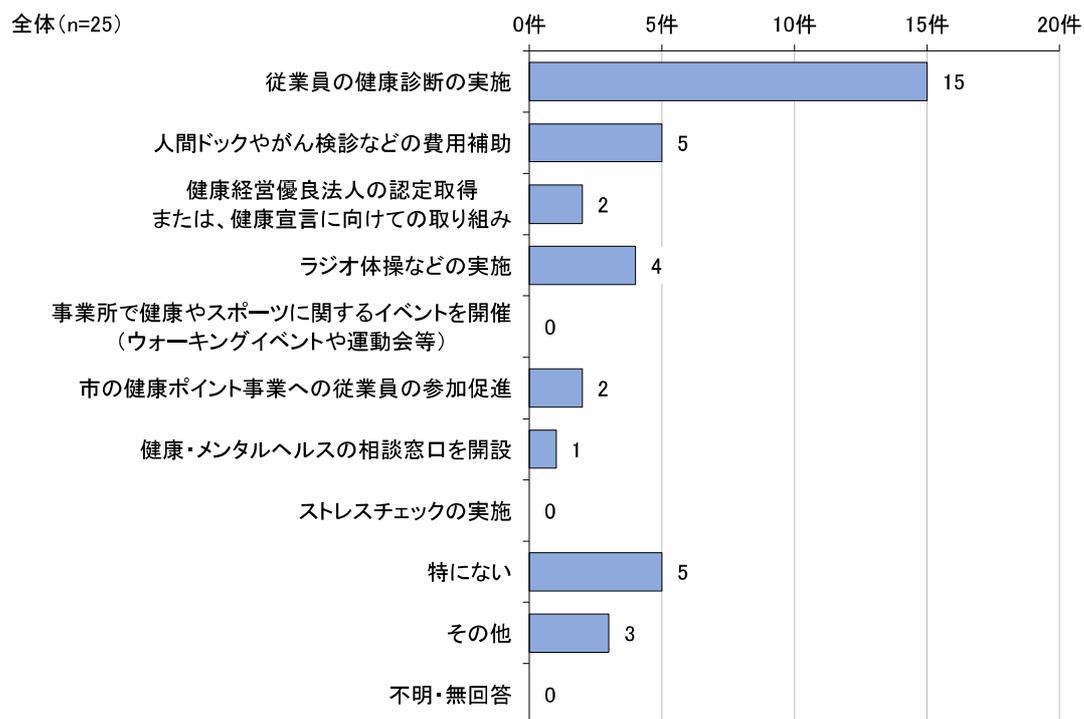
◆従業員の健康増進に向けて、課題となっていること（〇は3つまで）

従業員の健康増進に向けて、課題となっていることについてみると、「定期健康診断の完全実施」が11件と最も多く、次いで「職場環境の整備」が7件、「中高年労働者に対する健康対策」が6件となっています。



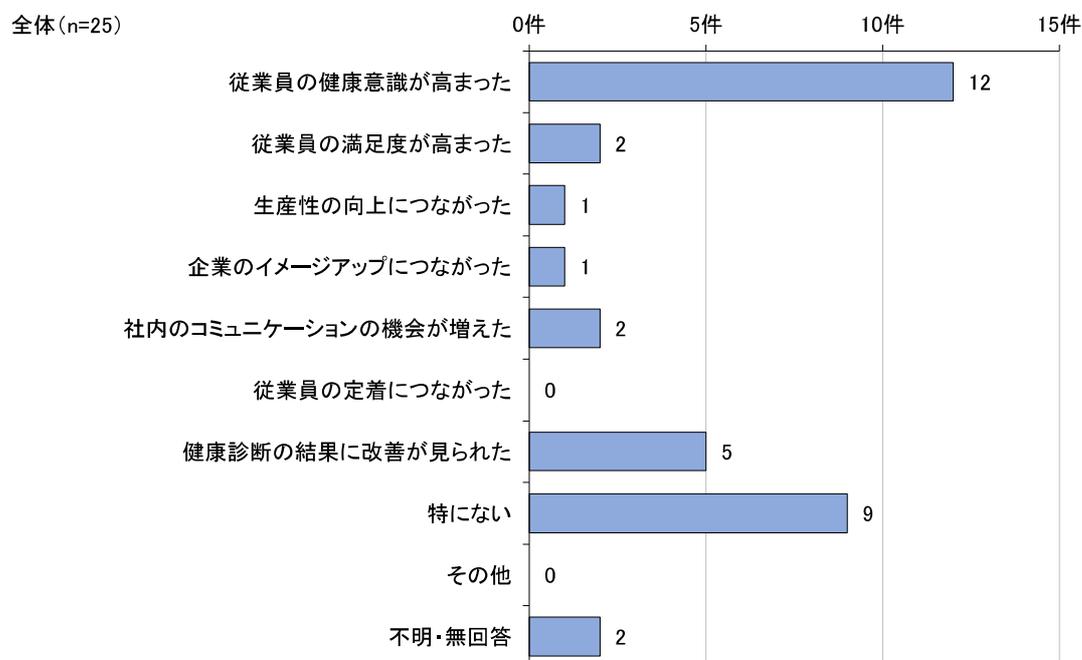
◆従業員の健幸（健康）づくりのために、実施している取組について
 （あてはまるものすべてに○）

従業員の健幸（健康）づくりのために、実施している取組についてみると、「従業員の健康診断の実施」が15件と最も多く、次いで「人間ドックやがん検診などの費用補助」「特にない」が5件、「ラジオ体操などの実施」が4件となっています。



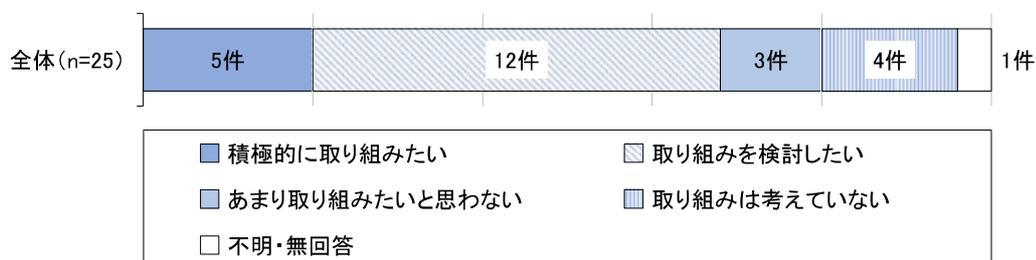
◆上記の取組による事業所への変化（あてはまるものすべてに○）

事業所に何か変化がみられたかについてみると、「従業員の健康意識が高まった」が12件と最も多く、次いで「特にない」が9件、「健康診断の結果に改善が見られた」が5件となっています。



◆今後、従業員の健幸（健康）づくりのために取り組みたいと思うこと（○は1つ）

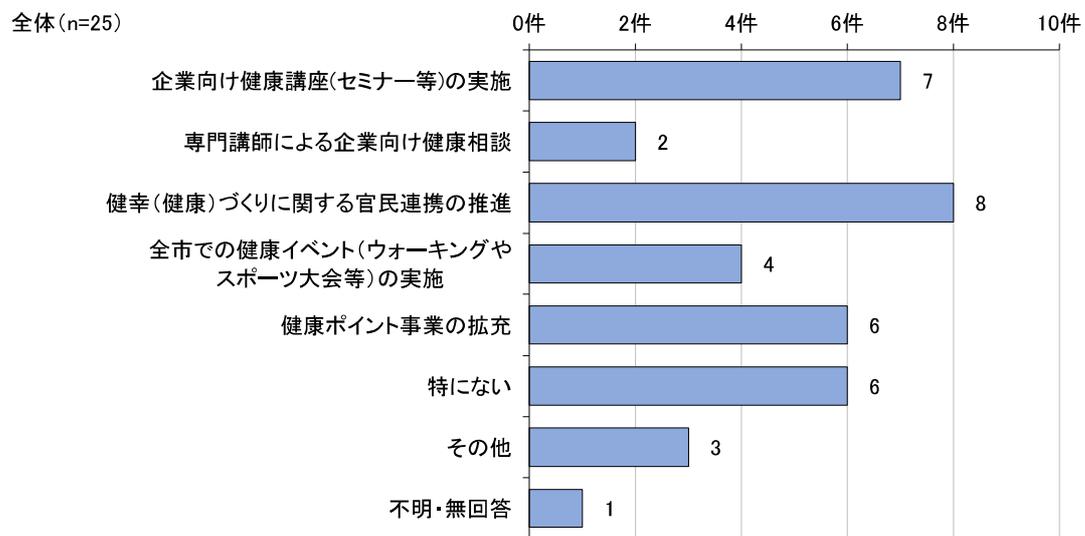
今後、従業員の健幸（健康）づくりのために、取り組みたいと思うことについてみると、「取り組みを検討したい」が12件と最も多く、次いで「積極的に取り組みたい」が5件、「取り組みは考えていない」が4件となっています。



今後の健幸（健康）づくりについて

◆今後、宇陀市の健幸（健康）づくりの取組について、市に期待したいこと （あてはまるものすべてに○）

今後、宇陀市の健幸（健康）づくりの取組について、市に期待したいことについてみると、「健幸（健康）づくりに関する官民連携の推進」が8件と最も多く、次いで「企業向け健康講座（セミナー等）の実施」が7件、「健康ポイント事業の拡充」「特にない」が6件となっています。

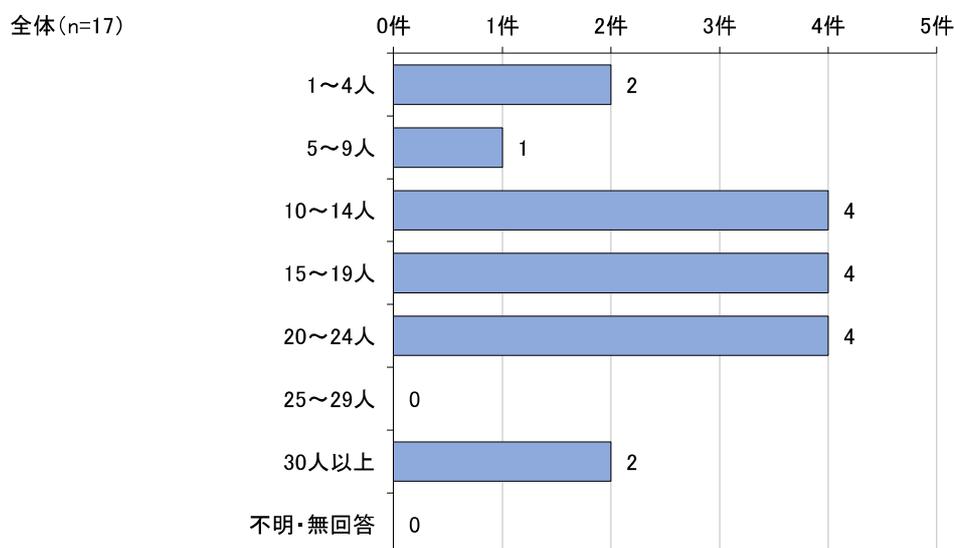


(3) 市内運動自主サークル対象アンケート調査結果

団体のことについて

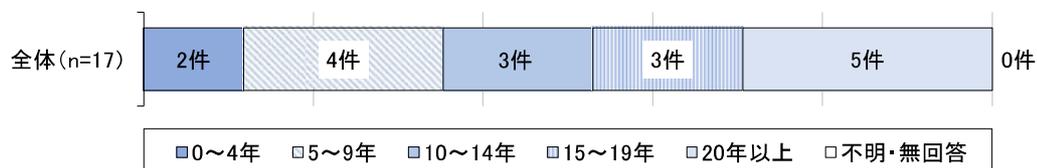
◆団体の構成人数

団体の構成人数についてみると、「10～14人」「15～19人」「20～24人」が4件と最も多く、次いで「1～4人」「30人以上」が2件となっています。



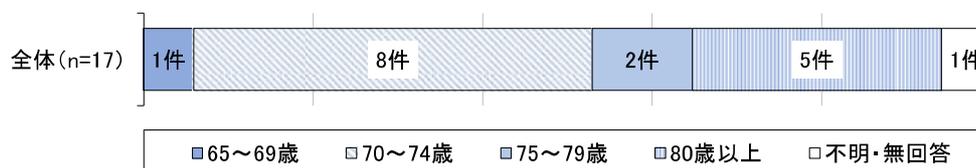
◆団体の発足年数

団体の発足年数についてみると、「20年以上」が5件と最も多く、次いで「5～9年」が4件、「10～14年」「15～19年」が3件となっています。



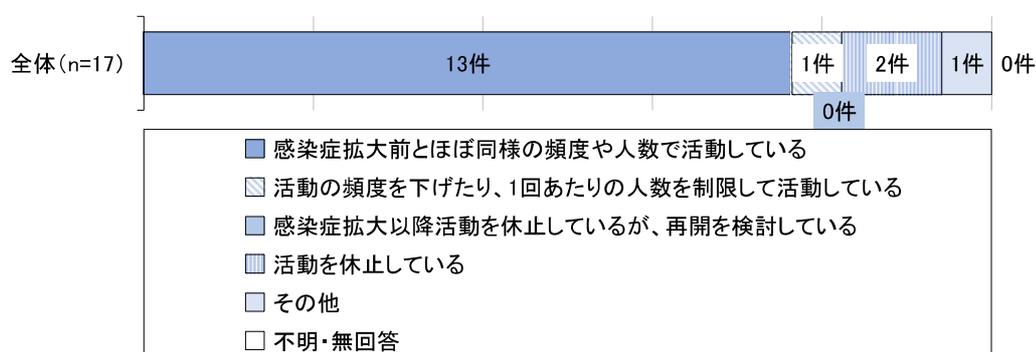
◆団体参加者の年代

団体参加者の年代についてみると、「70～74 歳」が8件と最も多く、次いで「80 歳以上」が5件、「75～79 歳」が2件となっています。



◆新型コロナウイルス感染症拡大以降、令和4年11月時点での貴団体の活動状況について（〇は1つ）

新型コロナウイルス感染症拡大以降の活動状況についてみると、「感染症拡大前とほぼ同様の頻度や人数で活動している」が13件と最も多く、次いで「活動を休止している」が2件となっています。

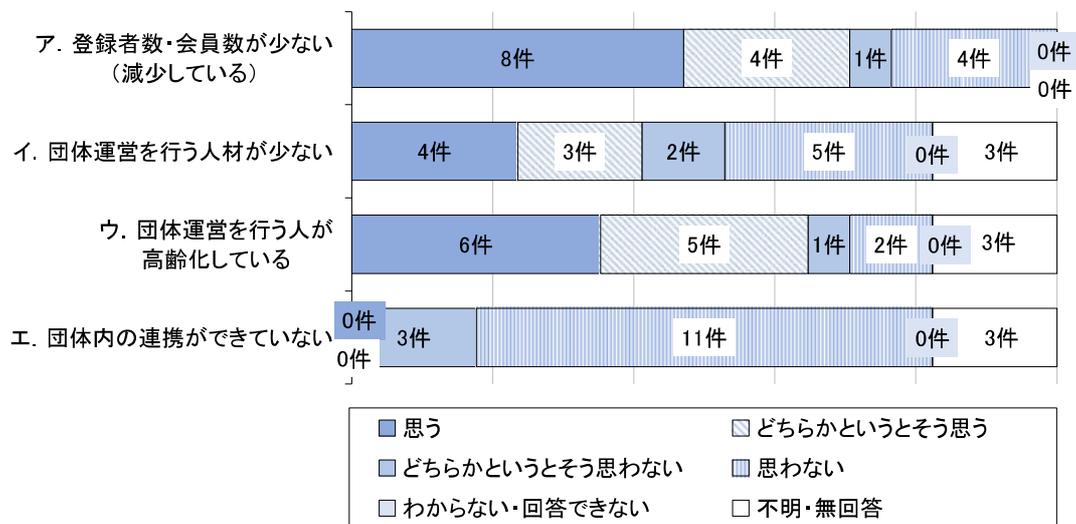


宇陀市の運動・健康づくりに対して感じていることについて

◆団体の運営の課題について、日頃感じていること（それぞれ〇は1つ）

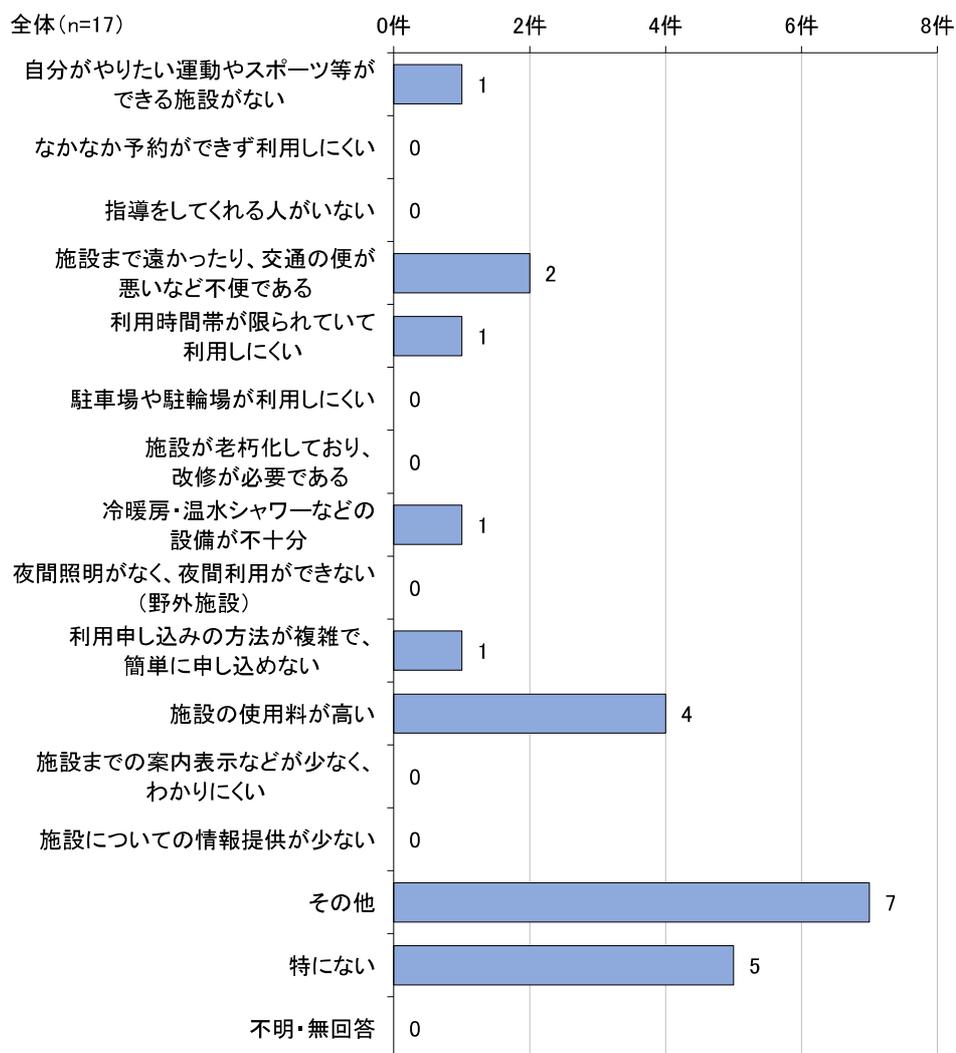
団体の運営の課題について、日頃感じていることについてみると、『ア. 登録者数・会員数が少ない（減少している）』では「思う」が8件、『イ. 団体運営を行う人材が少ない』では「思わない」が5件、「ウ. 団体運営を行う人が高齢化している」では「思う」が6件、「エ. 団体内の連携ができていない」では「思わない」が11件と、それぞれ最も多くなっています。

全体(n=17)



◆活動場所の施設などでの課題（あてはまるものすべてに○）

活動場所の施設などでの課題についてみると、「特にない」が5件と最も多く、次いで「施設の使用料が高い」が4件、「施設まで遠かったり、交通の便が悪いなど不便である」が2件となっています。



第3次健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想について

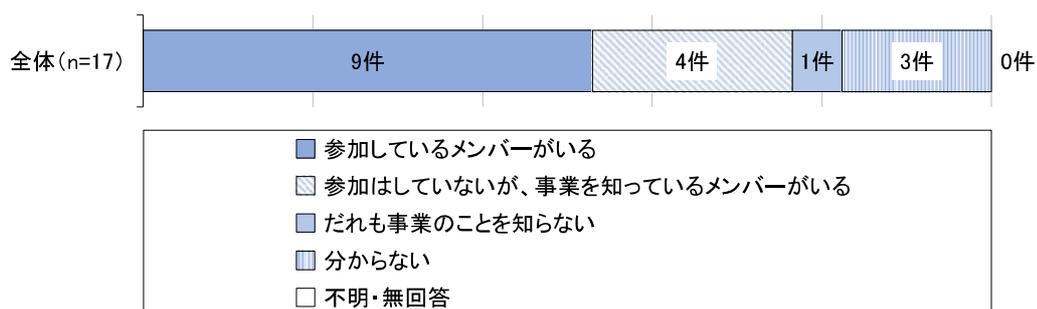
◆「健康ポイント事業」の認知状況について（〇は1つ）

「健康ポイント事業」の認知状況についてみると、「知っている、参加している」が8件と最も多く、次いで「参加はしていないが、知っている」が6件、「知らない」が3件となっています。



◆健康ポイント事業を知っている、参加しているメンバーはいるかについて（〇は1つ）

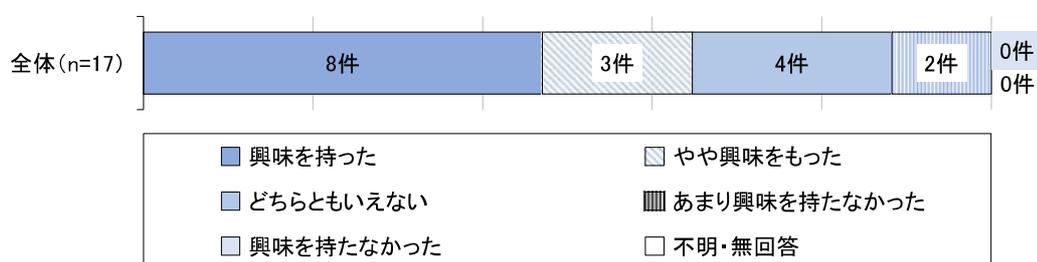
健康ポイント事業を知っている、参加しているメンバーはいるかについてみると、「参加しているメンバーがいる」が9件と最も多く、次いで「参加はしていないが、事業を知っているメンバーがいる」が4件、「分からない」が3件となっています。



◆宇陀市では、今後、健康に関する正しい知識などを身近な人に伝える健康の伝道師である「健康インフルエンサー（仮称）」を育成し、生活の中で家族や近所の人、職場の人など身近な人に「口コミ」で健康情報を発信していただき、健康づくりの輪を広げていく取組を検討しています。

健康インフルエンサー（仮称）の活動について思うこと（〇は1つ）

健康インフルエンサー（仮称）の活動について思うことについてみると、「興味を持った」が8件と最も多く、次いで「どちらともいえない」が4件、「やや興味をもった」が3件となっています。



用語解説

【アルファベット】

COPD（慢性閉塞性肺疾患）

たばこの煙などにより長期にわたる肺へのダメージが原因となり、肺に炎症がおき、呼吸に支障をきたす疾患。慢性気管支炎と肺気腫を総称した語。

DX

高速インターネットやクラウドサービス、人工知能（AI）などの ICT（情報通信技術）によってビジネスや生活の質を高めていくこと。スウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン氏らが 2004 年に提唱したとされる。企業では ICT を活用したビジネスモデルの変革や、それに伴う業務、組織、企業文化などの変革もさす。

GPS

日本語では「全地球測位システム」という。GPS を使用すると地球の周りをまわっている人工衛星との位置関係によって自分の位置を知ることができる。また、目標地点を GPS に設定すればそこまでの距離や方向を計測し最短距離を知ることができる。

SDGs

2015 年 9 月に国連で採択された「持続可能な開発目標」。「誰一人取り残さない」という理念のもと、「世界の貧困をなくす」「持続可能な世界を実現する」ことをめざしている。2030 年を達成期限とする 17 のゴール、169 のターゲット及びその進展を評価するための指針を持つ包括的な目標。

SWC（スマートウェルネスコミュニティ）協議会

従来の健康・医療に関するアプローチのみならず、まちづくり、スポーツなど多様な要因に目を向け、産官学の幅広い叡智を集めて課題解決する組織として 2015 年に設立された。健康づくり無関心層を半減させることを目標に、テーマごとの切り口により、有効施策を調査研究し政策提言につなげる諸活動を行っている。

【あ行】

いきいき百歳体操

高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送ることができるように支援することをめざした体操であり、高知県高知市で開発された。

移動診療車

大宇陀地域で開業医の閉院が相次いでおり、医療が希薄な地域への医療提供のため、今後、他の地域でも同様のケースが生じたときにも対応できる移動可能な診療体制として導入された。診療車には X 線撮影装置や超音波診断装置などの医療機器が搭載され、通常の診療所と変わらない診療が可能となっている。

宇陀けあネット

市民の医療・介護情報について、病院、医科・歯科診療所、訪問看護、薬局、介護サービス事業所などにおいて共有することで、よりよい医療・介護を提供するためのネットワーク。

【か行】

関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光などに来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々をさす用語。地域内にルーツがある人や、過去に居住や勤務したことがある人、何度も行き来する人などがこれにあたる。地方では特に人口減少や高齢化が問題となっており、関係人口が地域づくりの担い手として活躍することに地元の人々の期待が寄せられている。

ゲートキーパー

自殺の危険を示すサインを見逃さず、適切な対応をする役割を果たす人のこと。地域や職場などで悩んでいる人に声をかけて話を聞き、専門機関で必要な支援が受けられるように勧めたり、その後の経過を見守ったりする。

健康寿命

ある健康状態で生活することが期待される平均期間を表す指標で、WHO が提唱したもの。平均寿命から寝たきりや認知症などの介護状態の期間を差し引いた期間。

合計特殊出生率

1人の女性が生涯に生むことが見込まれる子どもの数を示す指標。年齢ごとに区分された女子人口に対する出生数の比率を年齢別出生率といい、合計特殊出生率は15～49歳の年齢別出生率の合計。

交流人口

その地域を訪れる人々のこと。その地域に住んでいる人（定住人口）に対する概念。その地域を訪れる目的としては、通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、習い事、スポーツ、観光、レジャーなどがあげられる。

子育て世代包括支援センター

すべての妊産婦、乳幼児とその保護者を対象に、妊娠期から子育て期まで切れ目なく、様々な相談に応じ支援を提供する。保健・医療・福祉・教育など、居住地域の関係機関が連携、また必要に応じて、個別に支援プランを作成して継続的な相談に応じる。

子ども家庭総合支援拠点

児童福祉法に基づく、すべての子どもとその家庭(妊産婦などを含む)を対象に、相談全般から専門的な支援までを行う拠点。

【さ行】

在宅ターミナルケア加算

余命の少ない人へ必要な医療提供体制を整えて、医療的ケアを行った際に算定できる加算。

シームレス

もともとは「縫い目のない」「継ぎ目のない」という意味の英語。この意味から転じて複数のサービス間のバリアをとり除き、容易に複数のサービスを利用することができることをさす。

食育

「食べる」という面からの「食事」や「食材」のことだけでなく、食物をバランスよく食べるための様々な知識を身につけること、食品の選び方を学ぶこと、また食堂（ダイニングルーム）、食卓、食器、食具などの食事の環境、そしてそれらを計画することなどといった「食の周辺」のことや食文化を育み伝えていくこと、さらに新しい食文化の創造など広い視野で「食」について学んだり、考えたりすることをさす。

【た行】

地方創生

人口減、東京一極集中、都市と地方の経済格差に歯止めをかけ、地方を活性化すること。

デジタルツール

デジタル技術を活用してアナログな業務をデジタル化し、業務の改善・効率化や売り上げ拡大、コストの削減などを図るためのツール。

デバイス

装置や機械のこと。特定の機能を持つ道具を英語でデバイスといい、転じて電子部品やパソコンの周辺機器、スマートフォンのように単体で機能を持つ電子機器や端末を総称して呼ぶようになった。

【は行】

標準化死亡比（SMR）

基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域にあてはめた場合に、計算により求められる期待（予想）死亡数と実際の死亡数とを比較するもの。国の平均を100として算出される。

フレイル（オーラルフレイル）

「加齢により心身が老い衰えた状態」であり、いわゆる「虚弱」のことをいう。フレイルは、早く介入して対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性がある。高齢者のフレイルは生活の質を落とすだけでなく、様々な合併症も引き起こす危険がある。オーラルフレイルは、口腔の虚弱を表す言葉で、主に口まわりの筋力が衰えることにより、滑舌や食の機能が低下することを表す。

ヘルスリテラシー

健康に関する情報を入手し、理解し、効果的に活用するための個人的能力のレベルのこと。世の中に溢れる健康情報の中から自分が正しいと思うものを取捨選択し、意思決定をしていくことで、生涯を通してQOLを維持・向上させることができる。

歩^ポジティブさん（健幸アンバサダー）

宇陀市版健幸アンバサダーの愛称。市民だけでなく、企業の方々にも参加いただくことを考えており、企業版については「働く歩^ポジティブさん」という。健幸アンバサダーは、健康に関する正しい知識などを身近な人に伝える健康の伝道師。生活の中で家族や近所の人、職場の人などに健康情報を「心に届く情報として」伝え、健康づくりの輪を広げていく。

【ら行】

レスパイト

一時的中断、休息、息抜きを意味する英語。在宅で介護をする家族などの介護者を癒やすために、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービスを「レスパイトケア」という。

第3次健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想

2023年2月

発行／編集 宇陀市健康福祉部健康増進課

〒633-0292 奈良県宇陀市榛原下井足17番地の3

TEL：0745-82-8000（代表）／FAX：0745-82-3900

URL：<https://www.city.uda.nara.jp/>